

回 覧

町内一斉防災訓練が実施されます

8月24日（日）午前6時町内一斉サイレン^{すいめい}吹鳴

～訓練想定～

上記日程で、町内一斉防災訓練を行います。この防災訓練は、日本の活断層の中でも、30年以内に地震を引き起こす確率がやや高い部類に属する、「新庄盆地断層帯」が活動し、最上町の広い範囲で震度5強から6弱を観測したことを想定して行います。

～訓練の実施の仕方～

8月24日朝6時に、防災行政無線から一斉にサイレンを吹鳴しますので、予め集落で定めた集合場所まで避難をしてください。

集合場所：_____

「新庄盆地断層帯とは」

鮭川村から、大蔵村にかけて、新庄盆地をほぼ南北に長さ17kmに渡って縦断している活断層です。この活断層が活動した場合、マグニチュード7.1（阪神大震災はマグニチュード7.3）程度の地震が発生するといわれています。発生確率は30年以内に5%程度といわれています。（熊本地震を引き起こした活断層の活動確率は0～6%）

もしもの時に備えておきたいこと

災害は発生してから準備をするのではなく、常日頃からの準備が大切です。

～家具の固定～

地震による死者の多くは、タンスや冷蔵庫など家具が倒れ、下敷きになったことによる圧死です。市販の支柱や固定具、耐震マットなどを使用することにより、その被害を軽減することができます。

～非常持ち出し袋を準備しましょう～

地震など大きな災害では、救援物資が届き始めるまで、3日ほどかかるといわれています。そのため、最低限3日分の非常食や水を用意し、いつでも持ち運べるようにしておきましょう。また、歯ブラシやボディーペーパーなど衛生用品や生理用品も準備しておくとう便利です。

感染症防止のため、マスク、消毒液、体温計の携行もお願いします。

担当 最上町役場総務企画課危機管理室 43-2111

～ 裏面の「地震発生時の心得」もご覧ください ～

防

災

その行動が家族を守る。覚えておきたい



地震発生時の心得

大地震発生直後にとるべき行動や、避難の際の注意点をご紹介します。

日頃からご家族で確認し、正しい行動がとれるよう備えておきましょう。

時系列行動マニュアル

地震発生
0～2分
後

とにかく自分の身を守ろう！



丈夫な机などの下に身を隠し、激しい揺れがおさまるのを待ちましょう。
激しい揺れは数十秒程度でおさまります。落下物などから身を守りましょう。

地震発生
2～5分
後

大揺れがおさまったら火の始末・出口の確保！

揺れを感じたときにすぐ火の始末をすると、揺れによって火傷を負う可能性があります。
あわてず大揺れがおさまってから火を止めましょう。(ガス栓・ストーブ・コンセントなど)
建物がゆがみドアや窓が開かなくなる事があります。避難経路を確保しましょう。

割れたガラスなどに注意！

厚手のスリッパや靴をはきましょう！

地震発生
5～10分
後

火の始末のあとはわが家の安否確認！

家族の無事を確認しましょう。

災害時の連絡方法や集合場所を事前に家族内で決めておきましょう。
ラジオやインターネット、防災無線から災害情報を入手しましょう。



地震発生
10分後～

外に出てから近所の安全確認！

近所にけが人、行方不明者がいないか、火災が起きていないか確認しましょう。
緊急時は、近所の方と協力して家や家具の下敷きになった人の救出活動を行います。
火災発生時は初期であれば消火活動にあたりましょう。



地震発生からの時間は目安です。災害時の状況に合わせた行動を取りましょう。